

## 2011年5月期(第13期) 第3四半期決算補足資料

2011年4月12日(火)

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。  
尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

# 【1】決算概要

クリエイティブ事業を担っていた当社連結子会社が連結対象から外れたことが影響  
**売上高 1,715百万円(対前年同期比率▲15.7%)**

国内において、高付加価値サービスへの転換遅れが影響  
**売上総利益 289百万円(対前年同期比率▲30.3%)**

ローコストオペレーションの促進により損益幅を改善  
**営業損失 121百万円(前年同期営業損失 ▲140百万円)**

- 売上総利益：売上高の減少 ▲319 / 製造原価の減少 +121
- 特別損失：子会社株式売却損 ▲16

	2011年5月期-3Q (連結累計)	2010年5月期-3Q (連結累計)	増減額	増減率
売上高	1,715	2,034	▲ 319	▲ 15.7%
売上総利益	289	414	▲125	▲ 30.3%
売上総利益率(%)	16.8%	20.4%	—	—
販管費	410	554	▲ 144	▲ 26.0%
販管费率(%)	23.9%	27.3%	—	—
EBITDA	▲ 104	▲ 84	—	—
営業損失	▲ 121	▲ 140	—	—
営業利益率(%)	—	—	—	—
経常損失	▲ 118	▲ 140	—	—
経常利益率(%)	—	—	—	—
四半期純損失	▲ 163	▲ 163	—	—
純利益率(%)	—	—	—	—
EPS(円)	▲2,262.63	▲ 2,251.07	—	—

(金額単位:百万円)

- 流動資産：現預金の減少▲188
- 固定資産：無形固定資産の増加 +10
- 固定負債：退職給付引当金の減少 ▲12

	2011年2月末 (連結累計)	2010年5月末 (連結累計)	増減額
流動資産	974	1,294	▲ 320
現預金	670	858	▲ 188
固定資産	182	184	▲ 1
有形固定資産	28	34	▲ 6
無形固定資産	35	24	10
投資その他の資産	118	124	▲ 6
総資産	1,157	1,479	▲ 321
流動負債	253	362	▲ 109
固定負債	5	18	▲ 13
負債合計	258	381	▲ 122
純資産	899	1,098	▲ 198

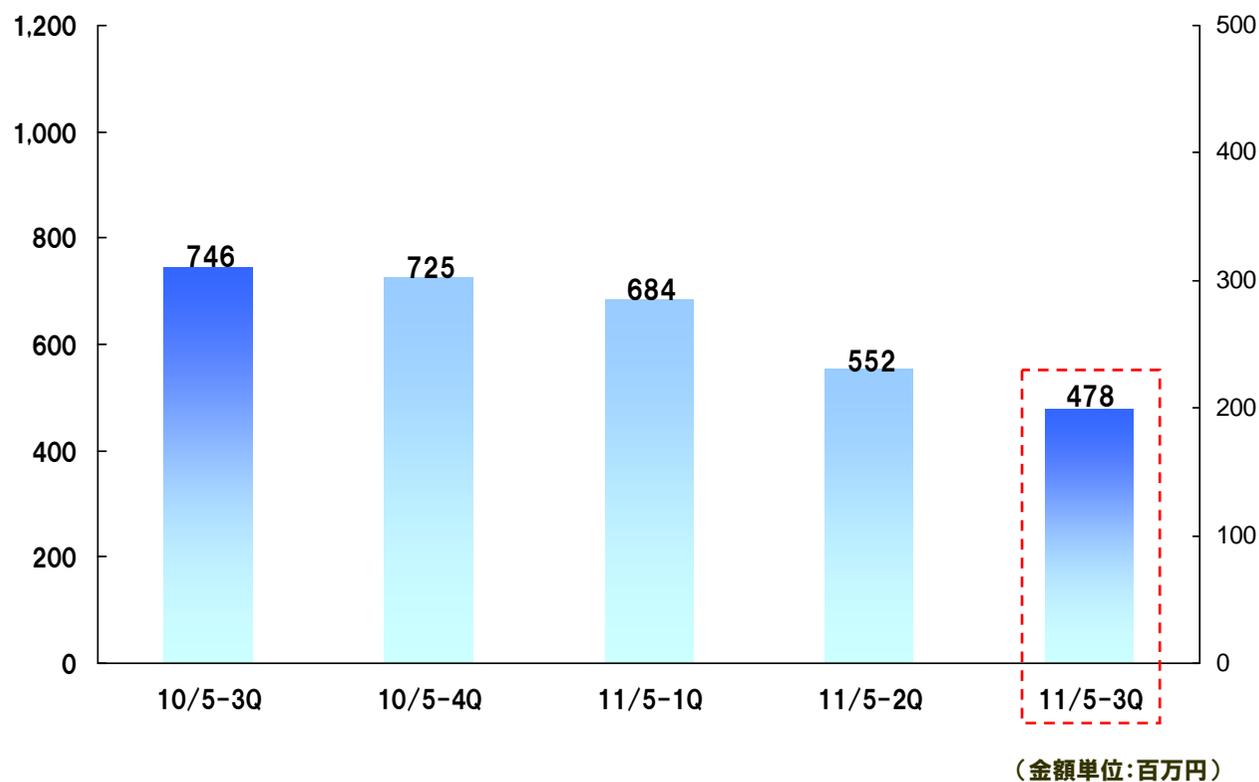
(金額単位:百万円)

- 営業CFの減少 ▲199
- 現金及び現金同等物の期末残高の減少 ▲ 236

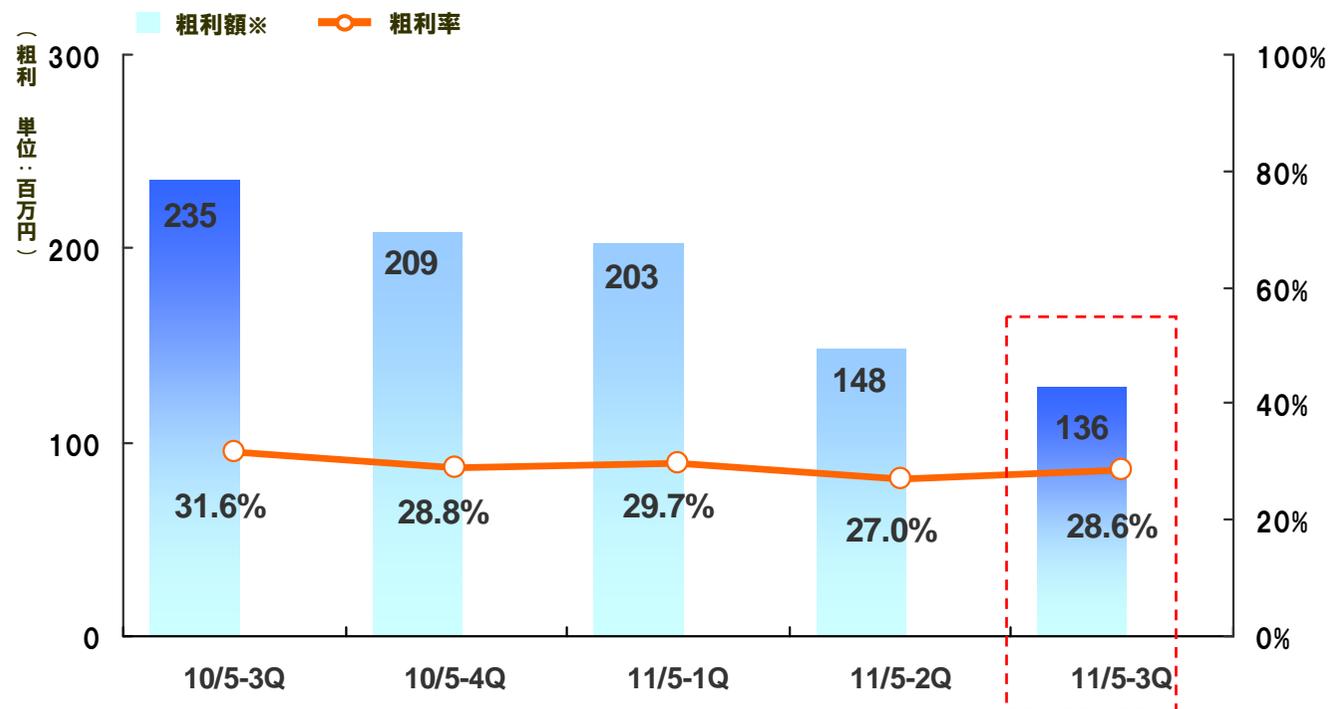
	2011年5月期-3Q (連結累計)	2010年5月期-3Q (連結累計)	増減額
営業活動によるCF	▲ 96	102	▲ 199
投資活動によるCF	▲ 55	▲ 70	+ 15
財務活動によるCF	▲ 23	▲ 73	+ 50
現金及び現金同等物の増減額	▲ 188	▲ 40	▲ 147
現金及び現金同等物の期首残高	858	947	▲ 88
現金及び現金同等物の期末残高	670	906	▲ 236

(金額単位:百万円)

- クリエイティブ事業を担っていた連結子会社が連結対象から外れたことにより  
売上高は35.9%減(746百万円→478百万円)



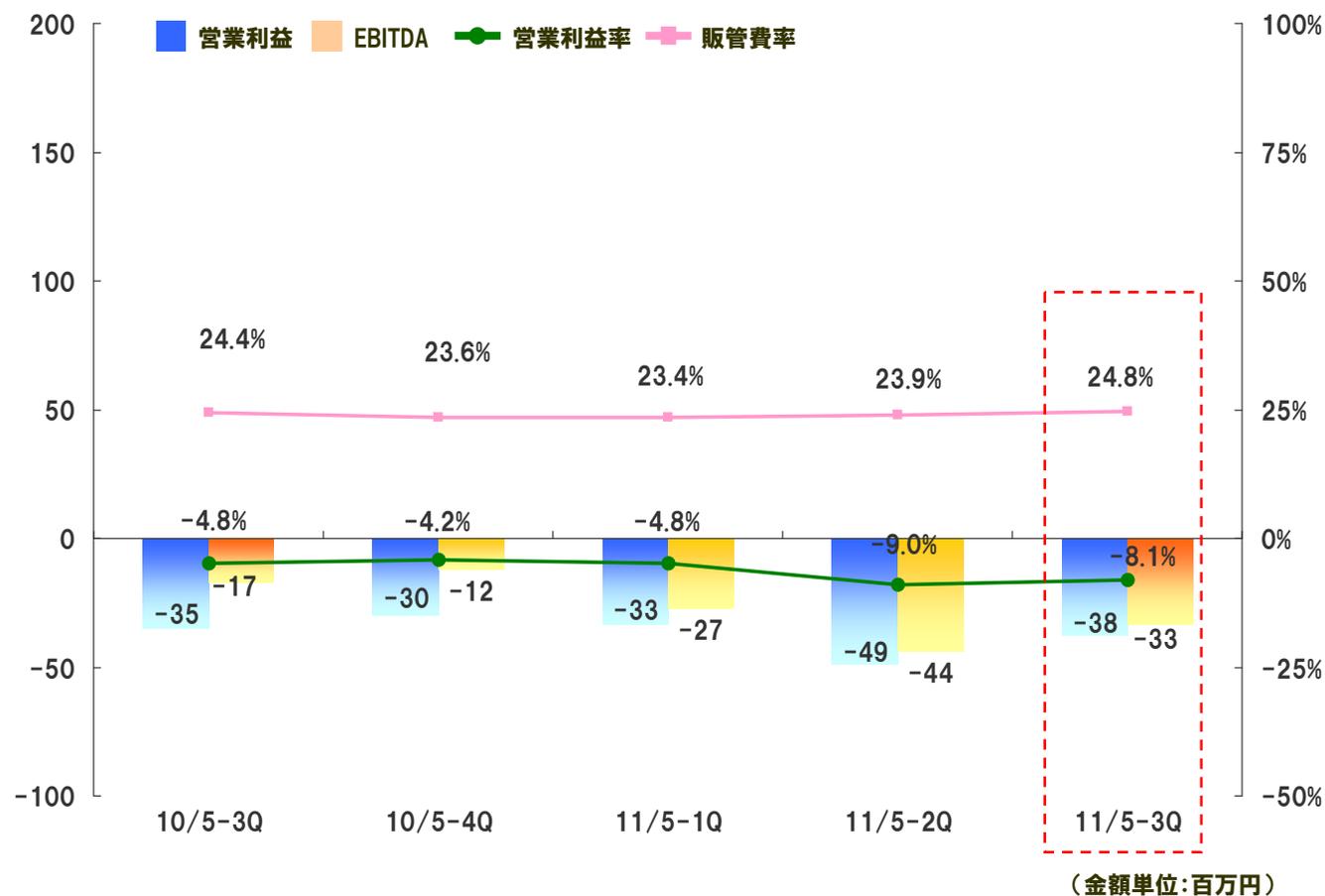
- 売上高の減少及び、原価率の高い商材の売上が増加したため粗利率は減少(31.6%→28.6%)



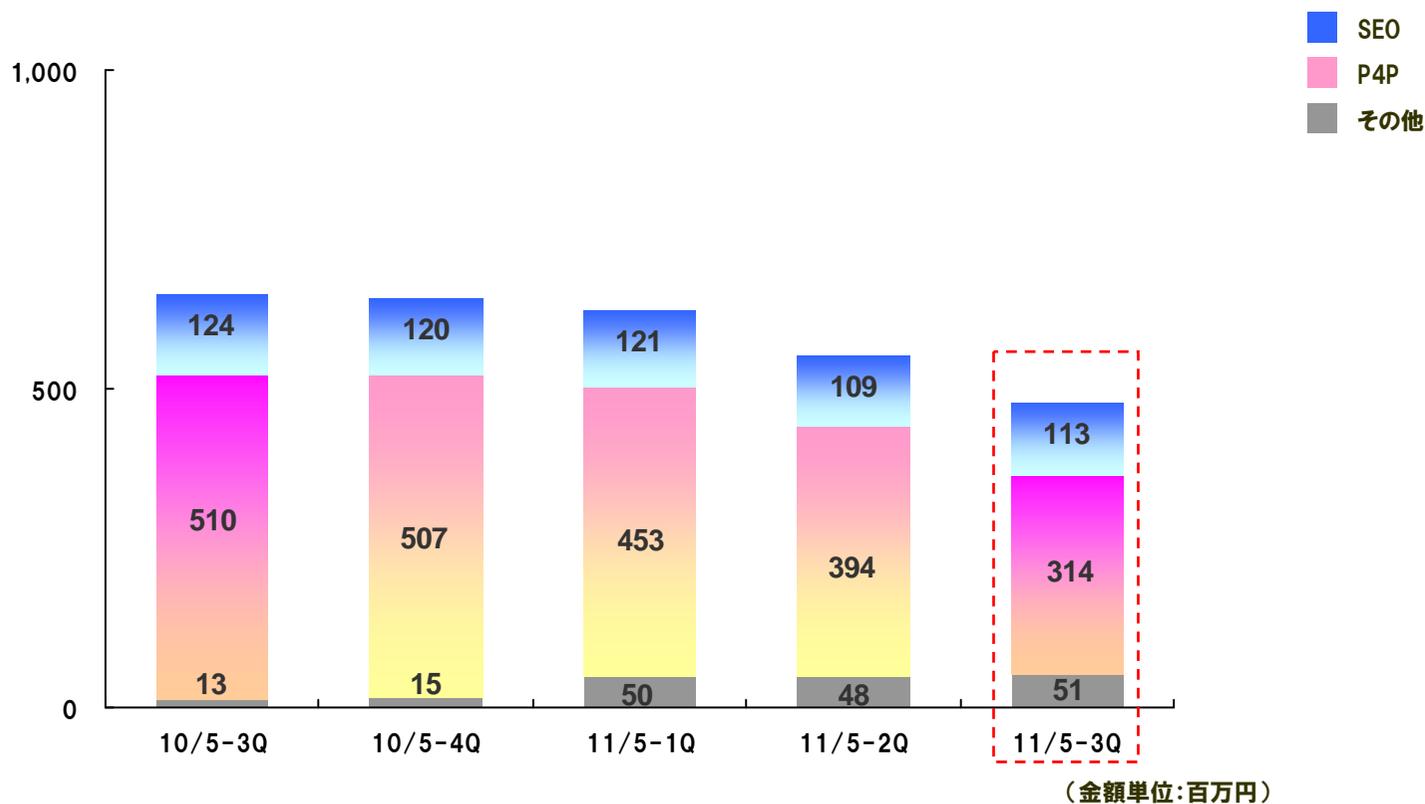
※粗利は限界利益を示します。

(限界利益 = 売上高 - 変動費)

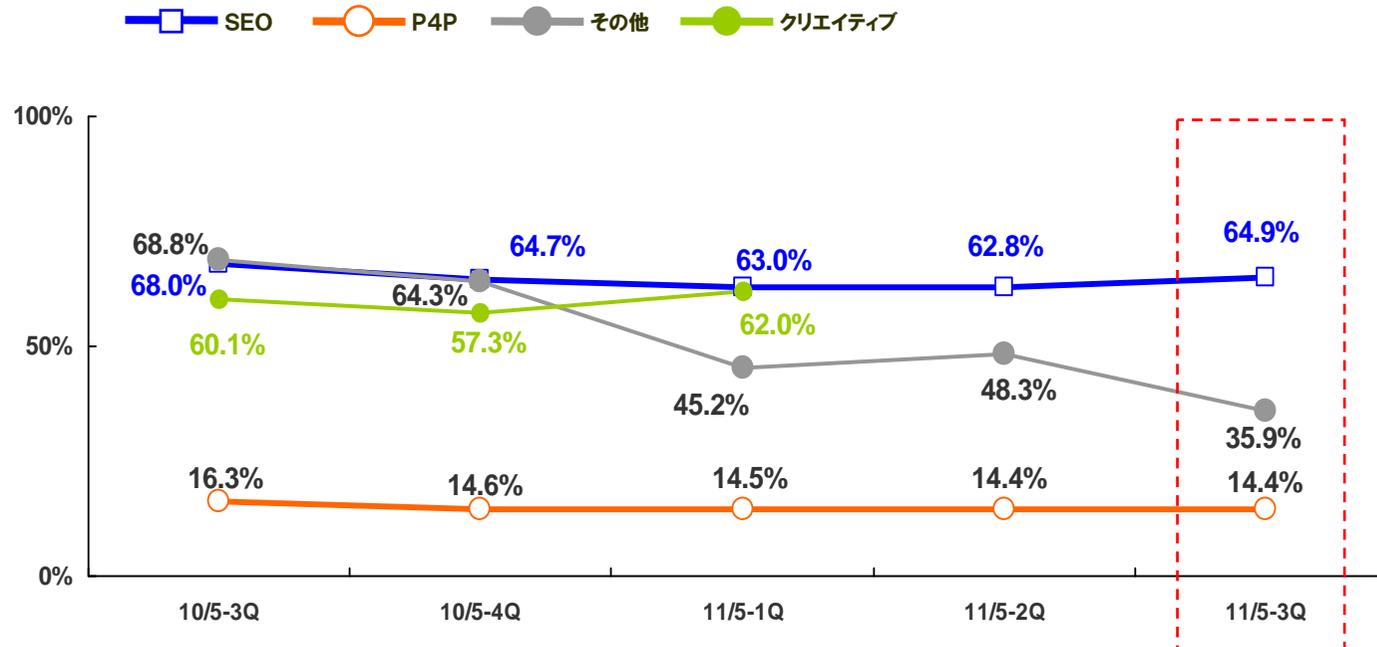
● 継続的なローコストオペレーションにより、販管費率は横ばい(24.4%→24.8%)



● 新商品およびメディアなどの新規領域での販売が増加(13百万円→51百万円)

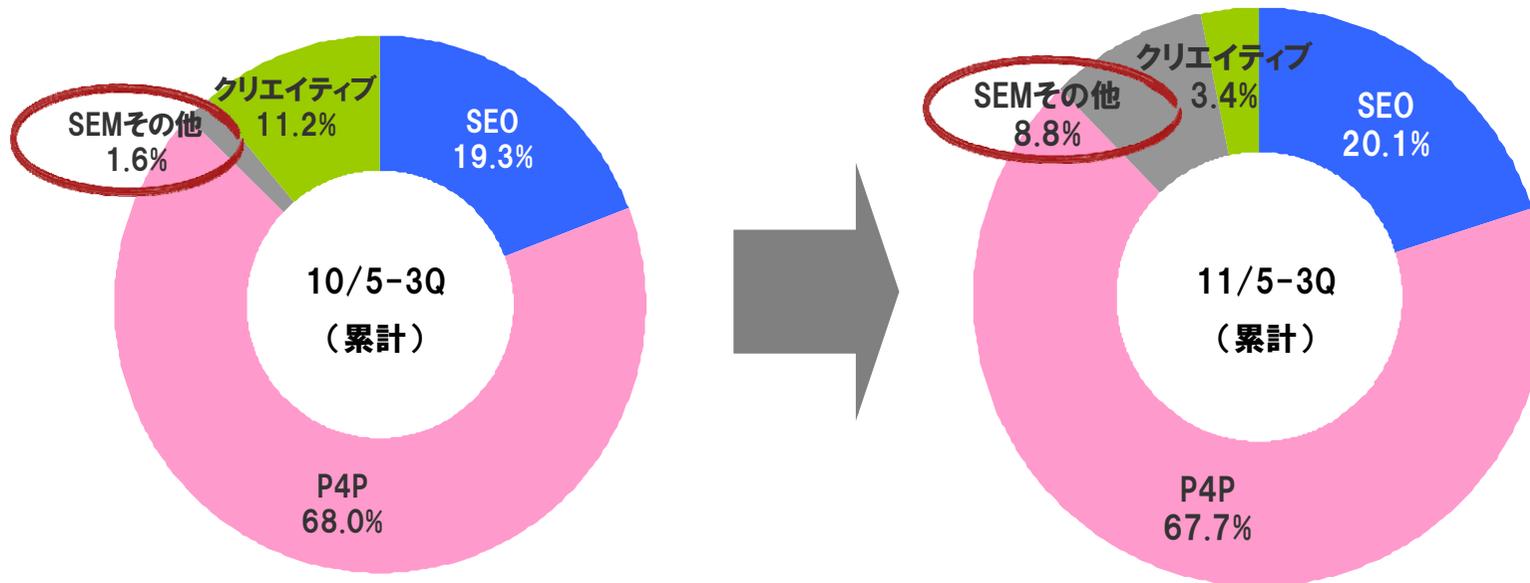


● その他において原価率の高い商材の販売増のため粗利率が低下



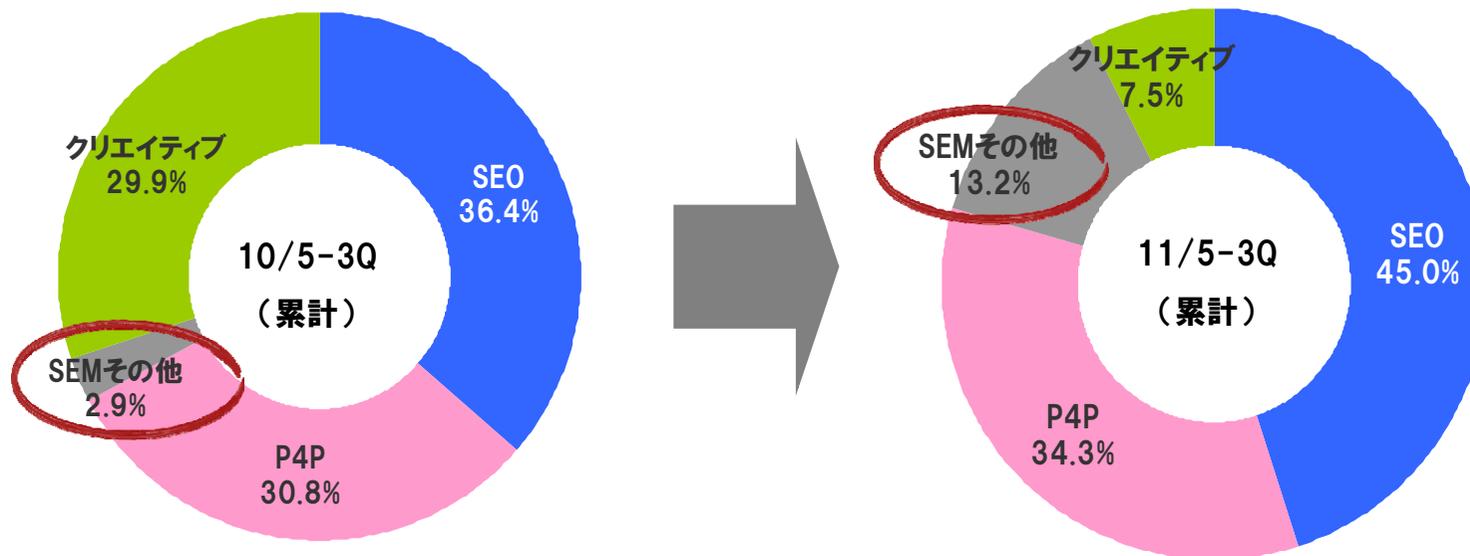
※2Qよりクリエイティブ事業を担っていた  
連結子会社が連結対象から外れております。

- メディアなどの新規領域での販売強化によりSEMその他の売上構成比が向上(1.6%→8.8%)



※クリエイティブは1Q分(連結対象除外会社)

● メディアなどの新規領域の拡充により粗利構成の偏りが軽減(2.9%→13.2%)

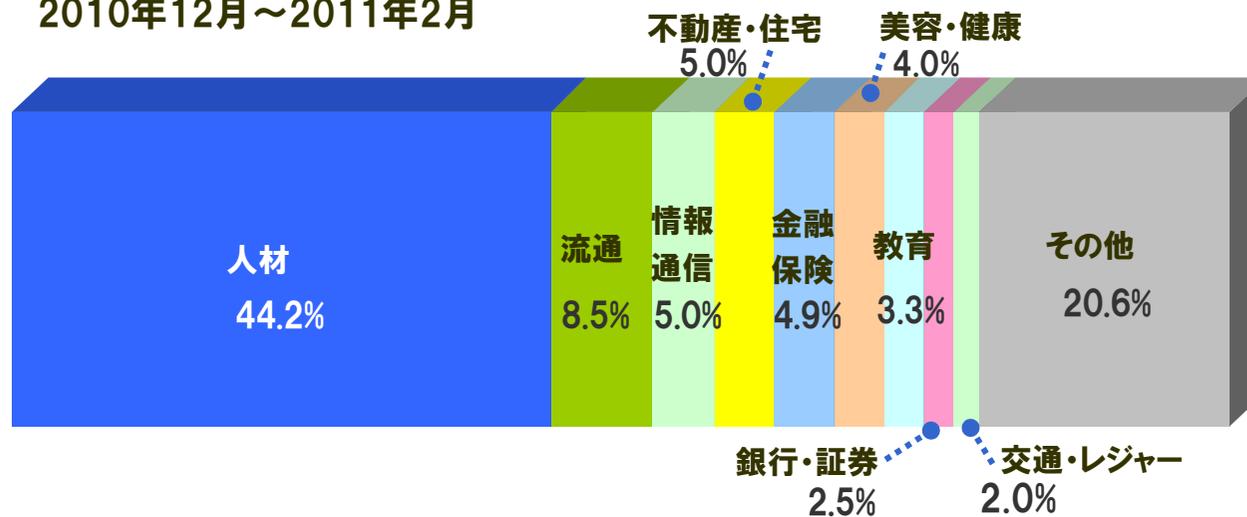


※粗利は限界利益を示します。

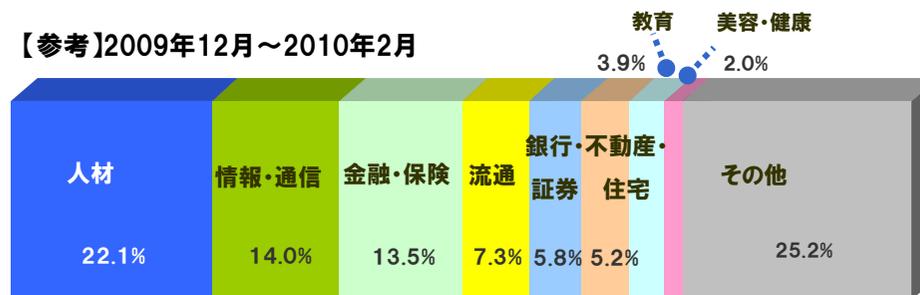
(限界利益 = 売上高 - 変動費)

- 業種に合わせたサービス提案を促進
- 人材、流通が堅調
- パーセンテージは、10年12月～11年2月における全サービスの売上高をベースにて算出

2010年12月～2011年2月



【参考】2009年12月～2010年2月



- 国内における高付加価値サービスへの転換の遅れや海外現地法人の収益化の遅れが影響

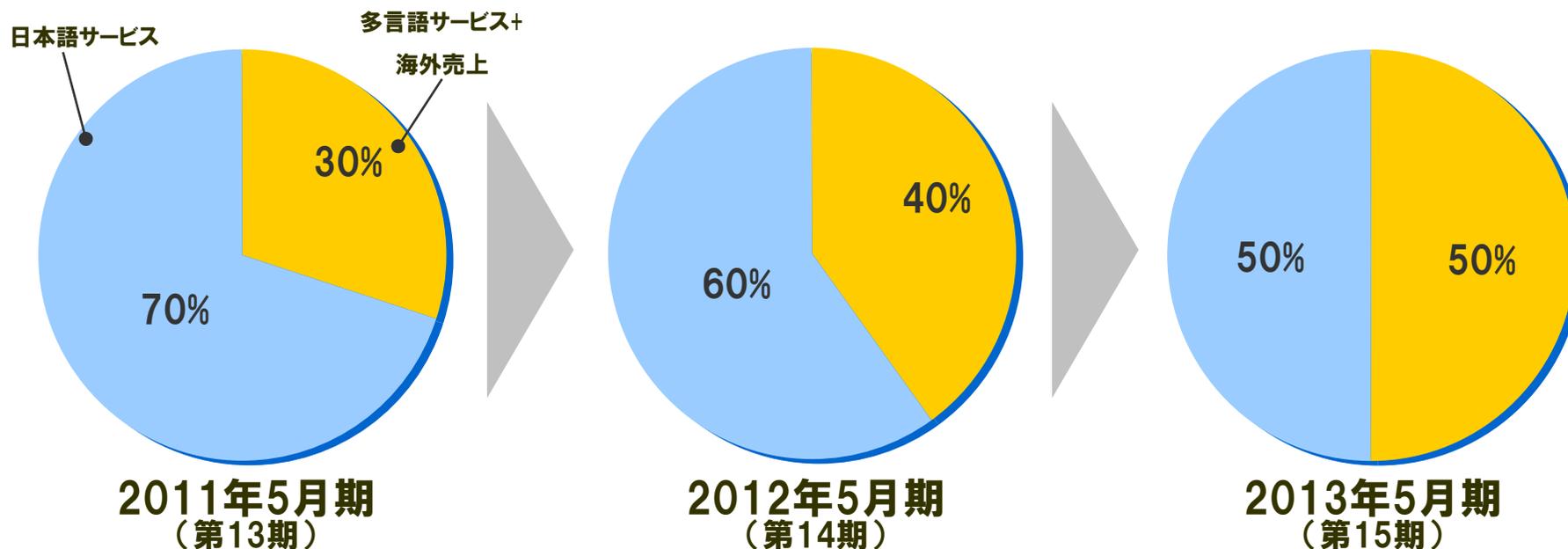
	2011年5月期 通期連結 業績予想	2011年5月期 第3四半期 実績	通期 進捗率	(参照) 2010年5月期 業績実績
売上高	2,621	1,715	65.4%	2,760
営業利益又は損失	51	▲ 121	-	▲ 170
経常利益又は損失	50	▲ 118	-	▲ 170
当期純利益又は純損失	19	▲ 163	-	▲ 276

(単位:百万円)

# 【2】事業の取り組み

# 事業目標1/2 > 売上構成比の転換(多言語構成比)

- 第13期目標:多言語サービス+海外売上30%
- 海外拠点での営業活動を拡充
- 多言語サービス販売体制を強化



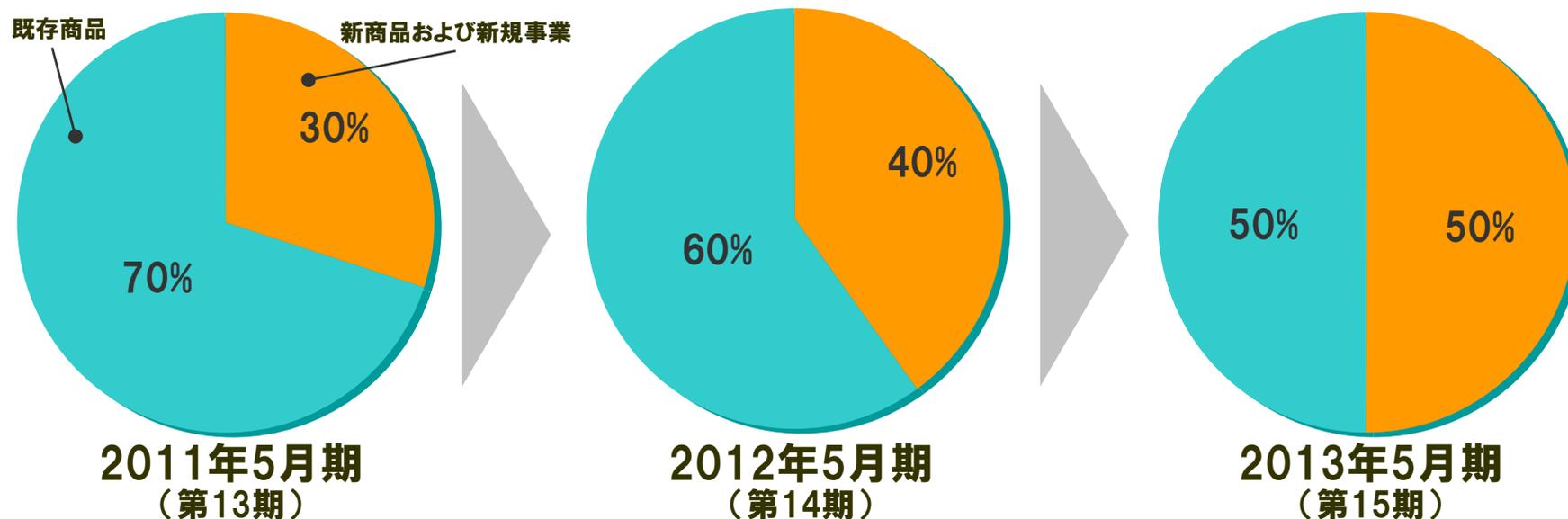
※多言語サービス

多言語SEM、メディア、翻訳、クリエイティブにて提供するサービス

※前期にて目標未達成のため構成比の見直しを行っております

## 事業目標2/2 > 売上構成比の転換(新商品・新規事業構成比)

- 第13期目標:新商品比率30%
- 事業ポートフォリオの転換を促進
- 引き続き新商品・新規事業を促進し、トップラインを向上



※新商品

SEMとクリエイティブから派生した商品で、メディア、翻訳などのサービス

※今後の見直しから再度検討し、構成比の見直しを行っております

# 1. グローバルサービスの強化

# 2. 海外営業拠点及び生産拠点の拡充

- グローバルサービスラインナップの拡充
- 他領域との連携による販売体制を強化

## クリエイティブ

多言語(英語、中国語、日本語など)によるWeb制作



AES Scaffolding (Thailand) Co., Ltd.



センターポイントオフィシャルサイト

## メディア

マルチリンガル旅行・生活情報予約サイト  
(アジア11カ国×5言語展開予定)



日本情報/英語版 日本情報/中国語版 タイ情報/日本語版 台湾情報/日本語版

## ワンストップでサービスを提供

## マーケティング

多言語(英語、中国語、日本語など)によるリサーチ、  
販売促進(SEM、バナーなど)



コニカミノルタ



日本ユニシス

## ランゲージ

64ヶ国語による翻訳、英語・中国語・  
韓国語・日本語によるコンタクトセンター



東京都市大学



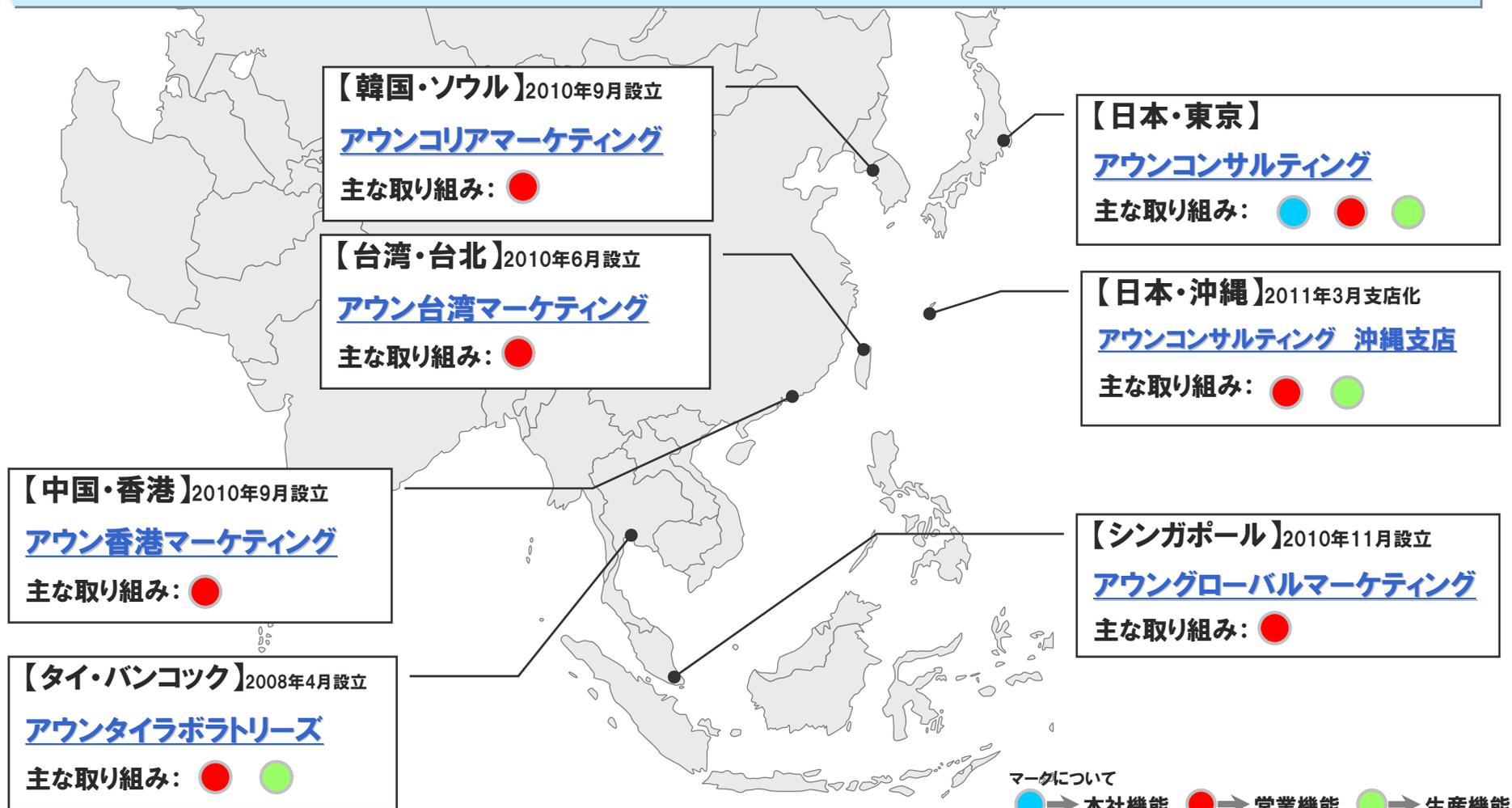
日本海洋

※当社グループにおける実績企業例

## 1. グローバルサービスの強化

- 2010年12月に提携したコムスコア・ジャパン社との連携を強化
  - ◆ 利用動向調査の発表を定期的 to 実施
- 複数のアジア言語で企業ニュースを配信するサービスを展開する  
ABN Newswireと協業
  - ◆ 海外向けニュース配信サービスを開始

- アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社を支店に変更、管理体制を一本化
- 海外5拠点での更なる営業活動の促進



## 2. 海外営業拠点及び生産拠点の拡充

- 海外拠点での販促セミナーを開催
- アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社を  
平成23年2月に解散し、3月から当社の支店とするグループ再編を実施  
⇒国内における管理体制を一本化することで効率的な資源配分と意思決定が可能に

# 卷末資料

# 多言語(英語、中国語、日本語など) によるWeb制作 クオリティの高い制作を提供



AES Scaffolding (Thailand) Co., Ltd.  
コーポレートサイト



センターポイントオフィシャルサイト

## 主なサービス

- Web制作/デザイン
- LP(ランディングページ)制作

# マルチリンガル旅行・生活情報予約サイト

## 「Visit First」を多言語で展開

(日本、シンガポール、韓国、台湾、香港、タイ)

## 豊富なコンテンツと情報量を提供

### 主なサービス

- VFペイドパブリシティ
- VFクーポン
- コンタクトセンター(予約代行)開始



Visit First(日本版:日本情報、  
英語・中国語・日本語)  
[http://www.visit-first.com/japan\\_guide/](http://www.visit-first.com/japan_guide/)



Visit First(タイ版:タイ情報、日本語)  
[http://www.visit-first.jp/thai\\_guide/](http://www.visit-first.jp/thai_guide/)

# 従来のSEM(検索エンジンマーケティング)を中心としたプロモーションの支援を日本からアジア地域を対象にコンサルティング支援



## 主なサービス

- SEOマクロ(日本語/英語・中国語など)
- SEOミクロ(日本語/英語・中国語など)
- P4P(日本語/英語・中国語など)
- iPhoneマーケティング
- ログ解析
- リサーチ

# 世界64ヶ国語に対応し、各分野の 専門文書に対応 高品質な翻訳を低コストかつスピーディに提供

## 主なサービス

- 一般文書翻訳
- 契約書翻訳
- 論文翻訳
- カジュアル翻訳





(証券コード:2459)

設立	1998(平成10)年6月8日
資本金	339,576千円(2011年2月末現在)
役員	代表取締役 兼 代表執行役員 信太 明 取締役 兼 常務執行役員 棚橋 繁行 取締役 兼 常務執行役員 坂田 崇典 社外取締役 藤原 徹一 常勤監査役 中谷 正史 監査役 加藤 征一 監査役 松村 卓朗
本社	東京都文京区後楽1-1-7 グラスシティ後楽
沖縄支店	沖縄県那覇市久米2-4-14 JB・NAHAビル
グループ会社	アウングローバルマーケティング株式会社(英文名称:AUN Global Marketing Pte.Ltd.) アウンコリアマーケティング株式会社(英文名称:AUN Korea Marketing,Inc.) 台湾亞文營銷事業股份有限公司 亞文香港營銷事業股份有限公司 アウンタイラボラトリーズ(英文名称:AUN Thai Laboratories Co.,Ltd. )
社員数	111名[正社員のみ98名(グループ会社含む・役員含まず)](2011年2月末現在)

1998	6	アウンコンサルティング株式会社を千葉県松戸市に設立(資本金10,000千円)
	9	本社を福島県福島市へ移転
	10	検索エンジン関連業務(登録業務)開始
1999	10	SEO(検索エンジン最適化)コンサルティングサービス開始
2001	1	東京営業所を、東京都文京区に開設
2002	4	本社を東京都文京区へ移転
	10	SEO専門ポータルサイト「検索エンジン最適化情報チャンネル(SEO-ch)」開設
	11	検索エンジンにおける検索結果の上位表示コンサルティングサービス「SEOオーソリティ」開始
2003	11	P4P(検索連動型広告・コンテンツ連動型広告)販売開始
	3	P4P運用コンサルティングサービス「P4Pマネージャー」開始
	4	SEM専門ポータルサイト「検索エンジンマーケティング情報チャンネル(SEM-ch)」開設
2004	10	本社を東京都千代田区に移転
2005	11	東京証券取引所マザーズ上場(証券コード:2459)
2006	12	沖縄ラボ開設
2007	4	トレンドウォッチャー向けの最新情報サイト「Trend-ch」開設
	5	海外マーケティング総合情報サイト「CBM-ch」開設
	10	日本テクノロジーFast50 受賞
	12	シリウステクノロジーズ社と「モバイルSEO事業」譲渡契約締結
2008	4	沖縄とタイ・バンコックに法人設立
	6	株式会社アート・スタジオ・サンライフの株式譲渡契約締結
	12	株式会社ジーネットワークスより翻訳事業譲渡契約締結
2009	7	株式会社アート・スタジオ・サンライフをアウングローバルマーケティング株式会社へ社名変更
	9	本社を東京都文京区に移転
	11	訪日・在日外国人向け情報サイト「Visit First」正式オープン AsiaPac Net Media Ltd.(香港)との業務提携契約締結
2010	6	台湾・台北に法人設立 アウンタイラボラトリーズBOI取得
	8	アウングローバルマーケティングがMBOにより独立
	9	香港と韓国・ソウルに法人設立
	11	シンガポールに法人設立
	3	アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社を支店化